

年間研修計画の工夫

小学校

校内支援体制の充実を目指した 計画的なミニ研修の取組

活用した資料

校内研修プログラムP22、25、27
 ー個別の教育支援計画の作成ー
 ー学級づくりー
 ー授業づくりー

○ 実践の概要

本校では、全校体制で特別な教育的支援を必要とする児童への指導や支援の充実を図るため、特別支援教育コーディネーターが中心となって、校内研修プログラムを活用した特別支援教育に関する20分程度のミニ研修を定期的の実施しています。

特別支援教育に関するミニ研修は、全教職員の共通理解と、校内体制の充実を図るために、下表のとおり、校内研修の年間計画に位置付けて実施しています。

月	研修内容
7月	学級づくり③ 障がいの理解 ・障がいの状態に応じた支援の在り方について理解を深める研修
	学級づくり② 教師の言葉かけ ・障がいの特性に応じた望ましい教師の関わり方についての研修
8月	授業づくり ・全ての児童にとって分かりやすい授業づくりの在り方についての協議
9月	個別の教育支援計画の作成 ・保護者と個別の教育支援計画作成に向けた、合意形成を図るためのロールプレイ ・発達検査の実施に向け、保護者から同意を得るためのロールプレイ
1月	実態把握、支援方法の検討 ・児童の実態を実施を踏まえた、組織としての支援方法の検討
2月	校内の連携 ・全ての子どもを対象として学校全体で統一して取り組む支援の方法の検討

【年間計画に位置付けた特別支援教育に関するミニ研修】

○ 実践の成果

本取組では、特別支援教育に関わるミニ研修を年間通して計画的に行うことにより、特別な教育的支援を必要とする児童一人一人の障がいの特性や状態に応じた指導や支援について学校全体で理解を深めることができました。

その結果、教職員が児童に寄り添った関わりを意識できるようになり、指導や支援の改善につながりました。